

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

2024 年 8 月 20 日

東員町議会

議長 伊藤 治雄 様

東員町議会 教育民生常任委員会

委員長 三林 浩 ㊟

研 修 報 告 書

研修期間	2024 年 7 月 30 日（火） ～ 7 月 31 日（水）【 2 日間】
研修（視察）先	①岡山県 奈義町役場 ②兵庫県 明石市役場
目的（テーマ等）	子ども・子育てを取り巻く社会 ①少子化対策 ②子ども医療費の無償化&中学校給食無償化
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 三林 浩 〕

研修概要、内容、所感

1. 岡山県 奈義町役場 {7月30日(火) 午後1時30分～午後3時30分}

1) 研修概要

昭和30年に3村合併により奈義町が誕生する。その後、平成の大合併には住民投票を行い「単独町制」を決定する。

奈義町の面積は、69.52 km²（東西約9 km/南北10 km）で人口は約5,700人（世帯数：2,532世帯）。人口の約8割以上が役場を中心に2 kmに定住するコンパクトシティである。

もう一つの特色として、日本原駐屯地と日本原演習場（14.66 km²）があり、行政区の約2割を占めている。

奈義町の最大の課題は「人口減少・少子高齢化」です。

その対策として、定住促進のため

- ・住宅施策（住む環境）
- ・就労の場の確保施策（働く環境）
- ・子育て支援施策（産み育てる環境）

を挙げ目標として「今後も現在の人口を維持する」とする。

3つの対策を積極的に進めてきた結果、令和元年の合計特殊出生率は「2.95」を記録する。（全国トップレベル）

2) 所感

単に人口を増やすことではなく、増やすにはどうしたら良いか町全体を巻き込み取り組んでいる。

住宅施策として若者の定住を促進するため、景観豊かな土地、利便性の高い土地に分譲地を整備し町営賃貸住宅（若者向け賃貸住宅）の整備をしている。このことからしても人口を維持する施策には単に住宅の整備だけではなく、住む人が安心して働ける環境との連携が重要なポイントと思いました。

本町は縦割り組織の意識が強く町全体としての意識が弱いように思います。

奈義町は、問題や課題にしっかり向き合いながら身の丈に合った対策を講じ、確実に実現に向かっていく姿勢に感銘しました。

また、人口が減少している中、年間出生数が50人前後をずっと維持していることである。そして子育て世代の半数以上が子ども3人以上であり、子育て支援が充実している。このことは本町でも参考になると思うので行政と議論し取り組んでいきたいと思います。

2. 兵庫県 明石市役所 {7月31日(水) 午前9時30分～午前11時30分}

1) 研修概要

明石市の面積は49.42 km² (東西15.6 km/南北9.4 km) 人口は約306,000人で神戸市に隣接し、阪神都市圏のベッドタウンとして発展してきた。

「明石市が住みやすいと思う人」は9割を超えており「子どもを核としたまちづくり」を掲げ、2013年を機に11年連続で人口が増加している。

その要因の主なものは

- ・こども医療費の無償化 (所得制限なし/高校3年生まで)
- ・第2子以降の保育料の完全無償化 (所得制限なし)
- ・0歳児の見守り (所得制限なし/おむつを無料でお届け)
- ・中学校給食無償化 (所得制限なし)
- ・公共施設入場無料に (所得制限なし)

を重要施策として取り組んでいる。

2) 所感

本町とは予算規模が大幅に違いますが、数字だけで決めるのではなく取り組む姿勢(やる気モード)が重要に感じました。

また、トップダウンが明確に「子どもを本気で応援する」指示されトップ自らも予算の段階から向き合っている姿勢は素晴らしいと思いました。

具体的には新しい事業を始めようとすれば、必ず予算は膨らみますが、明石市は出来る限りそうならないように収支計算をしっかりと見極め、少しでも負担が少なくなるように努力している経緯が説明からも伺えました。そうすることによって皆の資質向上に繋がると感じました。

明石市で学んだことを今度の決算審議で活かせるようにしていきます。

以上